

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.52

調査者	松木 良介、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年5月4日
情報ソースの調査日	2020年5月17日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月23日
日本語タイトル	COVID-19 パンデミック時の心臓血管サービスの安全な再導入: 北米社会からのガイダンス
情報ソース	Wood DA, et al. Safe Reintroduction of Cardiovascular Services during the COVID-19 Pandemic: Guidance from North American Societies. Can J Cardiol. 2020 Apr 30.
情報のカテゴリー	心疾患全般
発信地域	北アメリカ (カナダ)
DOI	10.1016/j.cjca.2020.04.031
URL	https://www.onlinecjc.ca/article/S0828-282X(20)30428-1/fulltext
要約	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19 パンデミック時の侵襲性心臓血管の手順と診断テストの安全な再導入に関するガイダンスである。 サービスの再導入にむけて、感染拡大防止とのバランスを鑑みてレベルが設定(0: 通常通り定期的なサービスの再開、1: ほとんどのサービスの再開、2: 一部のサービスの再開)されている。 侵襲性心臓血管の手順と診断テストの各々がどのような手順で再開されるべきかについて提案されている。 心臓血管処置または検査前に、全ての患者に対する COVID-19 診断のスクリーニングが奨励されている。 COVID-19 の二次的なパンデミック時に対応可能な医療システムを準備しておくことは極めて重要である。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか?	<ul style="list-style-type: none"> 運動を伴う心肺機能検査や心臓イメージングは、サービスが再開した時点でも、安定したケースの場合には延期される可能性がある。 今後、心臓リハビリ再開のタイミングも考慮していく必要がある。